



# たまき 社協だより

2024.11 No.92

編集・発行 社会福祉法人 玉城町社会福祉協議会  
〒519-0433 玉城町勝田4876番地1  
TEL0596-58-6915 / FAX0596-58-6916  
ホームページ <http://tamasya.or.jp/>  
E-mail [tamasya@amigo2.ne.jp](mailto:tamasya@amigo2.ne.jp)

玉城町社協理念 ～笑顔広がる 人づくり 地域づくり つながりづくりの実現に向けて～

## あつまれ たまき人<sup>びと</sup> ～ たまき人<sup>びと</sup> 小集合 ～



元気ですたまき委員会が主催する「あつまれたまき人<sup>びと</sup>」が9月5日、さんておーる食堂（佐田）で行われました。

このイベントは、「暮らしやすい玉城町」、「住み続けたい玉城町」の実現に向け、日ごろ取り組む福祉団体などから33人が集まり、活動を振り返りながら、できることや、やりたいことをグループに分かれ話し合いました。

今回は、「たまき人」の小さな集まりとして取り組みましたが、あらためてみんなで形にしていること、中集合、大集合も計画しています。

なお、あつまれたまき人の様子はYouTubeで配信中ですので、是非ご覧ください。玉城町社協のYouTubeチャンネル登録をお願いいたします。

YouTube / 玉城町社協



〈チャンネル登録方法〉

- ①二次元バーコードを読み込む
- ②「チャンネル登録」をクリック

この広報は、社協会費によって発行しております。

## 社協40周年に寄せて

いあぐわい



玉城町社会福祉協議会  
会長 辻村 修一

玉城町社会福祉協議会は、昭和59年に社会福祉法人として設立して、今年で40周年を迎えることができました。平素より社会福祉協議会の活動に、格別のご支援とご協力をいただき、職員一同心より御礼申し上げます。

当協議会は、笑顔広がる 人づくり 地域づくり つながりづくりの実現に向けて、を理念に、地域福祉の中核団体として今日まで歩み続けられてきたのも、賛同いただきました会員、各種団体、企業、法人等のご支援ご協力の賜物と感謝申し上げます。

昨今、「つながり」の弱まりや地域の持続可能性の諸問題に対応するため、『公的支援』と『地域づくり』の仕組みづくりの転換点に来ているといえます。

このようななかで、われわれは、人と人とのつながりを大切に、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域共生社会の実現を目指して、地域住民をはじめ、福祉関係者、行政などと力を合わせ、地域とともにつくっていく所存です。引き続きご理解ご支援をお願い申し上げます。ご挨拶といたします。

### 「元気ですたまき」と「言える町を目指して」



元気ですたまき委員会  
副委員長 中野 典保

社協法人化40周年を心からお祝い申し上げます。元気ですたまき委員会は、平成20年に地域の課題解決に向けて検討していくため、ボランティア

## 私の15年



玉城町  
民生委員児童委員協議会  
会長 岩崎 正

はじめに、玉城町社会福祉協議会が法人認可設立され40周年の節目を迎えられたことは、記念すべきことにておよろこびいたします。

私が社協と関わりを持つことになりましたのが、14、15年前でその年は民生委員の一斉改選にあたり、区長はじめ役員は複数名に依頼をかけていたようです。9月になり私にも声がかかり聞いても仄聞のごとくで、数日後に一期だけでいいから…いいか？軽い判断でしたね。その一期が今日にいたり、古株の1委員となつて関わりも増す中にて社協の担当職員には注文やらお願いの連続です。

その様な社協では限られた人員で多方面の対応が求められ、一般福祉・専門職と所属は違え念頭にある福祉が気の抜けないところでしょう。40周年の通過点に立った今、これから

の時代に沿った福祉に心を砕いていくのではないのでしょうか。社協職員の目配り、気配り、心配りに励む姿を皆さんに見てもらったことで玉城町がより明るく安心のできる町に育っていくことを私は願ってやみません。

## 虹の会について



玉城町虹の会  
顧問 松原 十三生

玉城町ボランティア団体「虹の会」は今年で創立31年目を迎えます。お陰様で社協の援助とともに、町民の多くの皆様に支えられて今日まで続けてこられた事に厚く御礼申し上げます。

今後増え続ける高齢化社会の中で、虹の会も高齢者が少しでも住みよい環境の中で暮らしていけるようになるにはどうすればよいか考えていくことが重要になってきました。今やコンビニやスーパーで気軽に弁当が買えるようになりましたが、身近な隣近所との付き合いや、高齢者

イアや各種団体、地元企業の代表が集まって結成されました。基本的な目標として、地域のコミュニケーションのアップや地域住民同士のつながりの強化、地域住民同士が支えあう気持ちの育成などを目指しています。具体的には5年間の「地域ふくし向上計画」を作成し、その計画のもと、あいさつ運動（明るく声かけ玉城の日）やふれあいウォーキング、楽笑会（楽しく笑顔の交流会）、婚活事業などを実施しています。

また、ふくしの共育できるまちづくりの一環として、「たまき人」活動にも力を入れています。たまき人とは、玉城町在住、在勤者で玉城町が大好きなすべての人を指します。この活動をさらに進め広めるために、たまき人の中の音楽好きが集まって「たまき人バンド」が結成され、各種イベントに参加しています。また、このバンド活動の中で、オリジナル曲「あいさつ運動のうた」も出来上がり、運動の盛り上げに一役買っています。

このように元気ですたまき委員会は玉城町に住むすべての人がつながり合い、支え合う気持ちを育むことを目指し、これからも活動を進めたいと思っています。皆さんのご参加をお待ちしております。

の体力に添ったごみ処理の支援、趣味や文化活動への参加等、幅広い支援活動がまだまだあると思います。弁当を配達した際の何気ない雑談で近況や、困りごとを聞かせてもらうと大変喜ばれ、長年弁当に添えられたお便りも楽しみにされて、どちらも高齢者を支えるためには大切なことであると思います。

会員同士の交流は、以前は町のバスで近隣の町のボランティア活動の視察や交流を行っていましたが、諸般の事情でそれがなくなりました。その代わりに年1回のピザパーティーと栗拾いが会員全員の交流の場となっていて、みんなでわいわい言いながら楽しくやっています。この際、虹の会発足のきっかけになった、社協が計画された「ボランティア活動のための講習会」を今のニーズに合った内容で再度、受講する機会があればと思います、これからも虹の会が社協とともに末永く続くことを願っています。



昭和59年11月15日、社会福祉法人玉城町社会福祉協議会が誕生しました。それから40年、新型コロナウイルスの影響も受けながら地域福祉事業を展開してきました。

地域で暮らす皆さまのほか、元気ですたまき委員をはじめ関係機関の参加・協力と、地域の人々が住み慣れたまちで安心して生活できることのできる『ふくしのまちづくり』の実現をめざし活動を進めて参りました。社協に関係の深い皆さまに40周年に寄せてお声をいただきました。

本当に様々な方が関わり、40年の歴史を大きく支えていただけてきたことを改めて感じます。

玉城町のオリジナル体操「元気ですたまき」を作詞・作曲いただいた高石ともやさんが8月17日、お亡くなりになりました。ご逝去の報に触れ、謹んでお悔やみ申し上げます。

魚町上町勝田町ぐるり殿町大手町…と城下町の町の名で始まる「元気ですたまき」。この楽曲を提供いただいたのが平成19年（2007年）です。

この曲を作られるにあたり、街中を歩かれ人と接し、季節を通じて変わる景色や脈々と続く玉城の歴史を詩に込

められ、そして元気なたまきへと歌詞はいざなってくれています。玉城町のために素晴らしい歌を残されたことと改めて感謝の念に堪えません。

人とのつながりが薄くなっている今だからこそ、みんな一人ひとりが元気でつながり合うことが大切な時です。

今年度11月30日には、40周年を記念した「健康づくり講演会&つながるコンサート」、さらに2月11日には、「第23回玉城町社会福祉大会」を予定しております。社会福祉活動貢献者への表彰や福祉の作文発表などの例年の内容に加え、コミュニケーションデザイナーの山崎亮さんの記念講演会を行います。

この節目を機に地域共生社会において人と人が、つながりつづける、をテーマに事業を展開してまいります。

今の時代だからこそ、確実に言えることは福祉が今以上に重要になってくること、そしてわれわれ地域にとって社協は住民同士を結びつける接着剤の役割を果たすものであると考えております。

今後も地域福祉の発展に努めてまいります。

## じぶんのまちをよくするしくみ 赤い羽根共同募金

### 赤い羽根共同募金とは？

「都道府県の区域を単位として、毎年1回、厚生労働大臣の定める期間内に限ってあまねく行う寄付金の募集であって、その区域内における地域福祉の推進を図るため、その寄付金をその区域内において社会福祉事業、更生保護事業その他社会福祉を目的とする事業を営業者（国及び地方公共団体を除く。）に配分することを目的とするものをいう。」と社会福祉法に規定されています。

### 仕組み



地域福祉の充実のためには、国の制度や行政サービスも大切ですが、地域に住む人々の助け合いや支え合いが重要になります。共同募金は自分たちで集めて自分たちの地域の福祉のために使う資金であり、自分たちの町を良くする仕組みとなっています。

### 運動期間

厚生労働大臣の告知により、10月1日から翌3月31日までの6か月間とされており、12月については、「歳末たすけあい募金」もあわせて実施しています。

また、各区を通じて世帯ごとに戸別募金としてご協力をお願いしており、町内における地域福祉活動の大切な資金となっています。

### 集まった募金は何に使われる？

三重県で集まった共同募金はすべて県内で使用されます。しかもそのほとんどが集められた市町の福祉活動に使用されます。

玉城町での実際の使用用途は次の通りです。

#### ○老人福祉活動事業

- ・ 気軽に集えるサロン活動への支援
- ・ 安否確認を兼ねて絵手紙（絵手紙サークルゆずりは会 作成）を届ける「ほのぼの便」
- ・ お一人暮らしの高齢者を対象とした集い「ぴんの会」への支援
- ・ ボランティア団体（虹の会）が

真心をこめて作ったお弁当を配達する「給食サービス」  
・ 町内小学校等との世代間交流「楽笑会」の開催



給食サービス

#### ○福祉育成・援助事業

- ・ 元気ですたまき委員会の運営（あいさつ運動、地域福祉座談会、たまき人の啓発、行事の計画・実施など）



あいさつ運動

#### ○ボランティア活動育成事業

- ・ ボランティアセンターの運営
- ・ ボランティア団体への助成

- ・ ちよこつと有償ボランティアの運営・充実
- ・ 身近な相談窓口「なんでも相談」の開設（毎月10日、30日）

#### ○障がい児・者福祉活動事業

- ・ 障がい者施設に入所・通所する障がい者やボランティアを対象とした「たまリンピック」の開催
- ・ 気軽に手話を学ぶ「手話っちかフェ」の開催
- ・ 音楽イベント「ライブスペース勢の！ in たまき」及び「はっぴいサークル」の開催



手話っちカフェ

これから確実に訪れる人口減少の時代、皆様のご理解・ご協力のものと、今のうちから地域をよりよくする仕組みを作り、誰もが安心して暮らしていけるよう、ご協力よろしくお願いたします。

## 真夏の夜の祭典で 元気な「たまき人」をPR

玉城町商工会が主催する「第47回真夏の夜の祭典」が8月3日、玉城町お城広場で行われました。屋外ステージに「たまき人バンド」が出演し、元気なたまき人を披露しました。

たまき人バンドは、元気ですたまき委員会を中心に音楽好きなメンバーで構成されています。この日は、「ルージユの伝言」を皮切りに、「ぶたりの愛ランド」「Blinding・Bang・Bang・Born」「あいさつ運動のうた」を演奏し、会場のみなさんと一緒にステージを盛り上げました。

今後、たまき人バンドは町内イベントに参加し、元気な「たまき人」をPRしていく予定です。



たまき人バンド ステージ

## 田丸小学校5年生 ポリ袋炊飯、避難所運営ゲームを実施

南海トラフ地震や津波、頻発する台風や局地的大雨等の自然災害から自分自身を守るために、体験型防災学習を通して、防災の知識を身に付けることを目的に防災体験学習を行っています。

災害が起こった場合、町内各小学校の体育館が避難所になります。そのため、避難所ではどのようなことが重要なかを考えていく必要があります。7月2日、小学校のことを良く知っている田丸小学校5年生が避難所運営ゲーム(HUG)を行いました。ゲームをしている子ども達は避難者の方にどのようなアプローチをするのが良いのかなどを考え、真剣に取り組んでいました。

玉城町防災ボランティアは長年にわたり子ども達の防災教育に力を入れています。今後も子ども達及び地域住民の防災意識の向上のため活動に取り組んで行く予定です。

ご興味・ご関心をお持ちになりました方は玉城町社会福祉協議会(☎58・6915)までお気軽にお問い合わせください。



ポリ袋炊飯の様子



避難所運営ゲーム体験

## 手話体験

手話っちカフェから、聴覚障がい者の方を含む3名の方が外城田小学校4年生を9月9日に訪問し、手話体験教室を行いました。

スプーツや果物などの簡単な手話の説明をしていただきました。

その後、聴覚障がい者の方の自身の生い立ちなどのお話を通して、手話について触れ、児童は手話を見よう見まねで、積極的に学んでいました。

手話っちカフェは毎月1回土曜日に、保健福祉会館にて開催しています。どなたでもご参加いただけます。楽しみながら優しく温かい環境で手話に触れることができます。

詳しい日程などは玉城町社会福祉協議会のホームページをご覧ください。ぜひお気軽にご参加ください。



手話体験の様子

## 障がい者の気持ちを伝え 車いす体験

当事者や体験者から生の声を聴き、社会や福祉を学ぶ授業が小学校にはあります。

毎年、福祉に関する授業を行っています。今年も9月26日、下外城田小学校4年生15名を対象に車いす体験を実施しました。

この日は、自身が車いすに乗る町社会福祉協議会の西野事務局長が講師役で、自らの障がいから経験してきた不自由さや支援の仕方などを児童と一緒に考え、あいさつや声掛けなどコミュニケーションの大切さを伝えました。

そのあと、2つのグループに分かれ、車いすの自走及び介助体験を行いました。普段あまり触れる機会のない車いすを乗ってみて操作したり、後ろから押して介助したりして、障がい者や高齢者が使用する不便さやそれを取り除く術を学んできました。



西野事務局長



介助体験



自走体験

## 町のたまき人<sup>びと</sup> 大募集！

### 明るく声かけ玉城の日

元気ですたまき委員会をはじめ、玉城町社会福祉協議会では明るく声かけ玉城の日（あいさつ運動）を実施しています。

つながりは『あいさつ』からとしてコミュニケーションアップを図り、ふれあいのある町・暮らしやすいまちづくりの推進を行います。

現在、明るく声かけ玉城の日に御協力いただける「あいさつ人<sup>びと</sup>」さんを募集しています。ご興味のある方はぜひ明るく声かけ玉城の日担当までお問い合わせください。



### ちょこっと有償ボランティア

ちょこっと有償ボランティアは町内の方々のお困りごとをお手伝いする有償のボランティアです。有償のボランティアなので、活動に対して利用料は発生します。

しかし、営利を目的とするものではなく、誰もが安心して暮らせるまちづくりとして、困った時はお互い様の精神で身近なお手伝いを心掛けるものです。

ボランティアをお手伝いいただく助っ人さんも募集しております。「ミミ出しに行くことができない」「ちょっとのことならお手伝いできるかも」などのお声をお待ちしております。

詳細につきましてはちょこっと有償ボランティア担当までお問い合わせください。



献血にご協力お願いします！  
～あなたの献血が  
誰かの一生につながる～

### 伊勢献血ルーム「ハートワン」

【受付期間】 全血献血

10時～11時45分

13時～17時30分

成分献血

10時～11時、13時～

17時

【休日】 金曜日、年末年始

【住所】 〒516・0008

伊勢市船江1丁目471-1

「ミタス伊勢」内

【お問い合わせ先】

フリーダイヤル

0120・25・7821

※ご不明な点がございましたら、お気軽にお電話ください。

キャンペーンのお知らせや、献血ルーム・献血バス会場のご案内、献血についての知識等、幅広い内容で情報発信を行っていますので、左記二次元バーコードでご確認ください。



### 『福祉の就職フェア』

in みえ (伊勢会場)

福祉・保育の仕事をお探しの方を対象に、合同就職説明会を開催します。

【日時】 令和6年12月14日(土)

13時30分～15時30分

【会場】 いせ市民活動センター

多目的ホール

(伊勢市岩淵1丁目2-29)

【参加法人】 16法人(予定)

【対象】 福祉・保育職場に就職希望、

または関心のある学生・一

般の方

【申込み・お問合せ】

三重県社会福祉協議会

三重県福祉人材センター

☎059・227・5160

### 『潜在保育士等就労・職場復帰支援研修(Web)』開催中

保育士または放課後児童支援員の資格をお持ちで、現在、保育現場で働いていなくて、働きたいと考えている方を対象に、5つの講座を開催いたします。

各講座、2時間程度の動画配信によるWeb研修です。1講座でも、全講座でも、受講したい講座にお申込みいただけます。配信期間内なら、何度でも視聴できます。

【配信期間】

令和6年10月7日(月)～

令和7年2月28日(金)

【申込期日】

令和7年2月13日(木) 16時まで

【対象者】

保育士または放課後児童支援員の資格を持ち、現在、保育現場で働いておらず復職をお考えの方(潜在保育士等)

【受講料】

無料

※インターネットの通信料は受講者負担となります。

【講座】

- ①「これから保育に求められるもの」
- ②「子どもの思いによりそつ保育」

③「子どものあそび、学びをはぐくむ保育」

④「保育士におけるコミュニケーション」

⑤「保育記録の取り方」

【申込方法】

左記「二次元バーコード」からお申込みください。

申込みフォーム



右記以外の申込方法をご希望の方は、☎059・227・5160までご連絡ください。

【お問合せ先】

社会福祉法人

三重県社会福祉協議会

三重県保育士・保育所支援センター

ター

☎059・227・5160

(平日 9時～17時、土日祝日・年末年始はお休み)

## 令和6年度 社協会費にご理解・ご協力を

社協が取り組む地域福祉活動には、高齢者・障がい児者支援・ボランティア支援などがあります。その活動を支える貴重な運営資金のひとつが、皆さまからいただく「会費」となっています。主に小中学校で行う福祉の取り組みを行っている「福祉協力校の活動費」に充てられています。

安定した財源確保のため、福祉活動にご理解ご協力いただきますようお願いいたします。会費の受付は、社協窓口で行っていません。

会費の区分	年額（1口）
個人会員	300円
団体会員 (福祉施設及び団体、企業等)	5,000円
賛助会員 (一定額以上の会費納入者)	10,000円

玉城町社会福祉協議会では、各自治区などの催しに活用いただく物品の貸し出しを行っています。貸し出しは原則自治区や団体を対象とします。

但し、団体会員となっていない場合には、1回会費2口（600円）以上の利用料が必要となります。

貸し出し品目は以下のとおりです。

- ・簡易テント（3m×3m）
- ・大鍋
- ・屋内用低床折りたたみイス
- ・綿菓子機
- ・発電機（1500w、900w）
- ・一輪車
- ・かき氷機
- ・送風機
- ・折り畳み式リヤカー
- ・フライヤー
- ・ブルーシート
- ・タコ焼き機
- ・高圧洗浄機
- ・ビンゴゲーム
- ・ストラックアウト
- ・ポップコーン機

※詳しくは  
お問合せください。



### 三重の赤い羽根共同募金 「百貨店プロジェクト」



ふとんのはしもと様より20,110円の募金をいただきました。今後、地域福祉活動等に活用していきたいと思っております。募金ありがとうございました。

三重の赤い羽根共同募金「百貨店プロジェクト」とは地域で活動している企業等の皆様に地域のためになる募金百貨店プロジェクトに参加していただくことによって、日常生活と社会貢献をつなぐ「企業～地域住民～共同募金」の新たな関係構築を目指したものです。

### ご寄付ありがとうございました。(7月～9月)

プランニング・ニュー様 …………… 7,000円  
元氣バス募金箱…………… 82,601円

### 身近な社協の相談窓口ご案内

なんでも相談（予約不要）

【日 時】 毎月10日、30日 13:00～15:00

【場 所】 玉城町保健福祉会館にて

【相談員】 民生児童委員、人権擁護委員、行政相談員

### 玉城町社会福祉協議会の 情報を発信中!!

ホームページ

YouTubeチャンネル

フェイスブック

